

令和6年度 神戸市立井吹西小学校のグランドデザイン

◎神戸の教育理念

「人は 人によって
人になる」
◎神戸の目指す人間像
「心豊かに
たくましく生きる人間」

◎神戸市教育大綱

7つの方針
→第4期神戸市教育振興
基本計画へ

児童の実態

○目標に向けて真面目に
素直に努力する。
□特性を持つ児童が多く、
家庭・地域と連携し、ス
テークホルダーの心理的
安全性を高める指導が必要
である。

学校の教育目標

- ◎ひびく心を育む
- ◎かがやく瞳を持たせる
- ◎**むい拓く力**を育む

目指す児童像

- ◎必要性を理解し主体的に学習する児童
- ◎共に学び、多様性の中で協力して課題に取り
組んでいく姿勢を持てる児童
- ◎素直さを活かし、柔軟にしなやかに社会性
を獲得していきける児童。

目指す学校像

- ◎「**一人も取り残さない**」姿勢で、教職員50人
全員で取り組む学校
- ◎家庭・保護者と連携し、**やさしくていねいに**
指導していくことができる学校
- ◎教職員が、児童の切り拓く力を伸ばすための
しなやかでねばり強い支援ができる学校

◎「明日につなげる

新・こうべ教育プラン」
基本政策1
心豊かにたくましく生きる
神戸の子供を育む
基本政策2
安全・安心で
楽しい学校を築き
地域と共に子供を支える

目指す教職員像

- ◎児童一人一人の将来や社
会とつながる授業作りをめ
ざす教職員
- ◎チームの一員として連携
し、向上心や探究心を持った
教職員
- ◎児童の姿を的確にとらえ、
自己の改善へ向き合い信頼
される教職員

何ができるようになるか

- 自己の豊かな生き方につながる力
- ①学習したことや体験したことを生かす。
- ②その場の状況に適した対応をし、話し合いを通じて課題解決を目指す。
- ③主体的に考え、根拠ある判断のもと行動する。

何を学ばか

- ①基本の知識・技能⇒めあての明示、
デジタル教科書、GIGA端末の活用
- ②思考判断表現⇒話し合い学習、発表
機会の設定
- ③学びに向かう姿勢⇒永井谷への実
習等の実地活動を通じて、楽しみなが
ら学び、実生活にいかすことを意識し
た学習

資質・能力の育成

何が身に付いたか

- コンピテンシーの獲得
- ①学習したことや体験したことを場面をかえたり日常生活に落とし込めることができる。
- ②教科等の見方・考え方を働かせて、課題解決へとつなげることができる。
- ③友達の考えや調べたこと等について立ち止まって捉え、自分の考えを再構築できる。

児童の発達をどのように支援するか

- 配慮を必要とする児童への指導
- ①一人一人の生徒と向き合い時間を確保し、生徒理解に努める。
- ②教師間で情報共有を行い、支援員、保護者と連携し、適切な支援を行う。
- ③特別支援教育相談センターなど外部機関と積極的に連携する。

どのように学ばか

- ①**課題解決学習(PBL)**
授業で、防災学習で
- ②**ICTの活用による意見交流と深化**
グループワークの活用で「コミュニケーション能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」を育成
(16-n)年後に必要な学力をつける

実施するために何が必要か ○指導体制の充実 家庭・地域との連携・協働

- ◎地域リソースの積極的活用(学校運営協議会、PTA、SSなどとの連携、ゲストティーチャーの招聘)
- ◎学校と家庭を往復する学習サイクルの確立と連携(じぶん学習、GAGAの活用)
- ◎地域と連携し、「安心・安全を守る」活動の推進、学校からの積極的な情報発信
- ◎井吹台中学校・井吹3小の連携(防災出前授業、トライやるでの生徒交流、行事での対応すり合わせ)